

予算決算委員会総務文教分科会会議記録

(令和6年度当初予算審査)

1. 日 時	令和6年2月22日(木) 9時30分開議 令和6年2月22日(木) 16時22分散会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	向井千尋座長、原田豊彦副座長、齋藤泰博委員、安井博幸委員、足立義則委員、隅田雅春委員、小島政行議長
9. 会議に付した事件	議案第19号 令和6年度丹波篠山市一般会計予算
10. 議事の経過	向井座長 挨拶 向井座長 開議宣告 9:30 開議 ■社会教育部 日程第1 議案第19号 令和6年度丹波篠山市一般会計予算 【主な説明】 社会教育課 【主な質疑】 安井委員 丹波篠山総合スポーツセンター管理費に関し、屋外トイレ改良工事の工事内容についてももう少し詳しく説明を頂けますか。 社会教育部 スポーツセンターの屋外トイレにつきましては、洋式化はできておりますが、扉、窓がございませんので設置させていただきます。あと、ウォシュレット等をつけさせていただくものと、冬季に凍結の恐れがあるということで、凍結しないような設備として熱線をパイプにはわせて凍結防止対応の工事をさせていただきます。 安井委員 これまで冬の期間、凍結で使えなくなって、利用者から苦情を聞いていたので、非常にそういう対応していただけるのはありがたいと思っております。ただ、かなり建物自体が古

<p>社会教育部</p>	<p>いのですが、外壁等も含め美装化されることは考えておられるのでしょうか。</p> <p>構造上の問題は今現在ないというふうに考えております。建具・設備等の対応を今回おこないたいと考えており、外壁塗装は含んでおりません。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>2つ聞かさせていただきます。1つは青少年育成一般費に関し、通学合宿の助成を4団体と計上されていますが、この4団体を教えていただきたいと思います。保健体育総務費に関し、丹波篠山ABCマラソン大会の参加費今の8,700円でも高いという声は聞くのですが、来年1万円程度にするとの説明でした。神戸とか大阪等、他のマラソン大会の出場料はどのぐらいのものなのか、参考に教えていただければと思います。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>通学合宿につきましては、前年度、また過去の実績等をもとに新年度実施予定の組織の地区ということで予算計上させていただきました。地区としましては、今田、古市、大芋、多紀小学校区全体でやるということで4地区分で計上をさせていただきます。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>今回8,700円で開催をしております。他大会につきましては、手元に詳細が今ございませんけども、神戸、大阪等につきましては1万6,000円程度だったという認識をしています。</p> <p>(後刻資料提出済)</p>
<p>安井委員</p>	<p>ABCマラソンの件ですけども、1,000万円の補助金ということは、この前補正予算で上げた1,600万円と比べたら600万円ほどは安く上がってるのかなというように思うのですけども、エントリー費を値上げして、何とか支出を減らそうということでされているのですけれども8,000人というのは実現可能な数字なのか、今年と同じぐらいに5,000人ぐらいしかエントリーされないのではないかという心配はあるのですけどその辺りはいかがでしょうか。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>ABCマラソンにつきましては、8,000人で企画したいと考えております。ただ、これにつきましては実行委員会にお諮りして、最終的に人数を決めたいと考えています。大型の都市マラソンにつきましては、1万人を超える大会をされています。地方大会につきましては、7,000人から8,000人程度の大会をされてるのが見受けられますので、今回、1万人を定員</p>

	<p>で募集した結果では5,331人となっております。次年度以降につきましましては、制限タイムがABCマラソン非常に厳しいという声もありますので、緩和の方向で調整を進めております。そういうことができましたらランナーの皆さんに向かって新たな丹波篠山ABCマラソンとして募集できると考えております。</p>
隅田委員	<p>B社がABCマラソンのスポンサーを降りられて、市内企業にスポンサーをあたるというふうに聞いておりますが、今既にあたっておられるのか。もしあたっておられたら、その感触などを伝えてもらえればと思います。</p>
社会教育部	<p>スポンサーにつきましましては、市内事業者、また市に関係していただいている企業者の方々にお声掛けを展開しております。また市長含めて、訪問させていただきまして、ある一定の感触は得ているというふうに考えております。</p>
向井座長	<p>今回補正予算審査のときに、大会の開催の仕方を見直していくというようなことを言われていたのですけれども、見直しされる内容は決まったのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>まず、制限時間について現在検討させていただいてるのは5時間10分という非常に厳しい制限時間を6時間半に伸ばしたいと考えています。それにつきましましては、地元の自治会長会、警察に協議させていただきまして、最終的に方向性を決めたいと考えています。今までABCマラソンにつきましましては、朝日放送と共同主催としてさせていただいております。引き続きお願いしたいと考えておりますが、スポンサーを1社のスポンサーではなくて、多くの市内事業者、市外企業にも声かけをさせていただいて、新たな協賛金を獲得するような働きかけをしていきたいと考えてます。</p>
原田副座長	<p>保健体育総務費に関し、協力者謝礼という項目があるのですけれども、大会等の開催にあたり看護師さんの謝礼というふうに聞いたんですけど、そのほかには執行できないのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>協力者謝礼につきましましては、長澤スポーツ振興官の人脈を使って指導者を呼んでいただいておりますので、そういった方にも謝礼を支払う形で使わせていただいております。</p>
原田副座長	<p>保健体育総務費に関し、市ゴルフ協会補助金130万円と上が</p>

社会教育部

っていますが、少し他の補助金とは補助する団体が違うなど思うのと、130万円が有効に効果的に活用されているのでしょうか。

この補助金の交付先のゴルフ協会につきましては、市内ゴルフ場のゴルフ利用税が市の歳入に入っております。そういったものをゴルフ団体にも還元するという意味で、今回補助金を交付することとしています。また、ゴルフ協会のほうで、子供たちのゴルフジュニア育成を手がけており、費用として充てられていることを報告受けております。

足立委員

保健体育総務費と丹波篠山総合スポーツセンター管理費に関し、財源内訳を見ますと地方債、有利な過疎債を活用していただいたのですが、建物に対して補助金が出るということで、これでいいと思うのですが、過疎債は、10万円単位で、地方債を借り上げるシステムなのか、満額地方債を充当することができないのかお尋ねします。

社会教育部
安井委員

過疎債につきましては、10万円単位となっております。

保健体育総務費に関し、スポーツ振興官の報酬なんですけど720万円計上されているので、月60万円というふうに思うんですけども、産業高等学校の野球部の指導がメインであって産業高等学校の野球部以外に、市民のスポーツ対応にどのぐらいの割合で働いておられるのかについてお尋ねしたいと思います。

社会教育部

割合として数字を出すのが難しいなというに考えています。ただ、市内の子供たちを対象として、2月3日に野球ではありませんけども、少年野球、中学野球、高校野球の3つのカテゴリーを集めて、ベースボールクリニック等も開催しています。スポーツ協会等の顧問にも入っていただいておりますので、講演会等も実施しながら市内のスポーツ振興を図っていきたい、寄与頂きたいと考えております。

安井委員

もう1点長澤スポーツ振興官の勤務実態として、月に大体何時間ぐらい指導にあたられているものなんですか。

社会教育部

1日来ていただいたら、大体6時間勤務いただいています。指導は6時間丸々ではないので、週に4日とすれば16時間から20時間ぐらいになります。

安井委員	<p>基本的には産業高等学校へ行かれてるというように理解していいですね。市役所なり、スポーツセンターとかには、何かイベントとか行事があるときだけ行かれてるというふうに理解していいですね。</p>
社会教育部	<p>打合せもありますので、そういったときはもちろん来ていただいていますし、他のスポーツイベント等を行う前の関係団体との調整等、会議にも出席を頂いたりしてしますのでそういったものも含め来ていただいています。</p>
隅田委員	<p>今日の新聞に、A投手が産業高等学校に300万円のピッチングマシンを寄贈されたという記事を見ました。今までは中森投手の応援等をおこなっておりますが、今回を機にA投手とのパイプを太くし、例えばオフのときに丹波篠山市に来ていただいて子供たちに野球教室を開いてもらうとか、パイプを太くすることも考えてもいいんじゃないかと思うんですが検討されておるのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>千葉ロッテマリーンズにつきましては、中森選手との兼ね合いでスポンサー契約させていただいており、その中でいろんな企画をさせていただいています。A投手につきましては、中日ドラゴンズということになりますので、球団との連携が非常に必要になってくると思います。草加選手と、長澤スポーツ振興官の関係につきましては、いろんな交流を図れると思うのですが、ご提案のようにプロ野球選手が指導に入るようなことはルール上もできないところもございますので、所属されている球団とのセッションとかそういうのが必要になってくるかと考えてます。</p>
安井委員	<p>学校のクラブ活動は社会人クラブに委託するといった流れが学校にはあると思うんですけども、社会教育課では学校のクラブ関係の受皿ということについて、どのようなスタンスで進められてるのか、その辺りをお尋ねします。</p>
社会教育部	<p>部活動の地域移行につきましては、現在学校教育課で所管しております。我々もスポーツ協会を所管しておりますので、スポーツ協会の中では今現在のスポーツ庁の方針等について説明また資料の配付をさせていただいております。その中で、今後の子供たちのスポーツ環境を整えていくという意味ではスポーツ協会の各競技団体が受皿なりサポートなり</p>

安井委員

必要になってくるということは説明し、それに対しての課題整理等を今後していきたいと考えています。

私も地域移行は、学校の教師の負担を軽減することからいいことだと思っております。実際、私スポーツクラブに入っていますけれども、ソフトテニスなんかは子供たちを相手に指導されたりしているのですけれども、そういう仕組みを社会教育課で進めていただき、学校教育課と連携をとりながら進めていただけるといい方向になるのではないかと考えているのですけど、その辺りについては進展しているのでしょうか。私の知っているソフトテニス以外でも動きはあるのでしょうか。

社会教育部

この1月からは剣道協会が地域移行を受けられるということで、各中学校区単位ではなく、東と西というエリアを分けて、会員募集等もされておりますので、現在につきましては、剣道が実施されております。今後、ホッケー協会が地域移行を受けていくというふうに聞いております。

【主な説明】

文化財課

【主な質疑】

隅田委員

文化財保存活用費に関し、文化財調査員という項目がありますが、これは何名ぐらいなのかということと、地域の歴史資産を生かしたまちづくりを進めると書いてありますが、どのような方向性でまちづくりを進めていかれるのか、具体的なイメージがわくような説明をお願いしたいと思います。

社会教育部

令和6年度の会計年度任用職員ですが、3名を予定しております。1名は、歴史資産専門といたしまして、平成23年から続けている歴史文化を生かしたまちづくり事業のアドバイザーであったり、文化財と歴史資産についての地域からのアドバイスを行います。それと文化財調査員のほうは、今年から、丹波焼陶の郷の改修に伴う文化財調査、これが令和6、7年度で発掘調査をすることになっております。令和6年度の主な業務としましては、発掘調査に携わる専門員2名という形になります。

隅田委員

春節が始まって以来、歴史美術館も中国人の客が随分増え

社会教育部

たという話を聞いたんです。どういうネットを使って、丹波篠山市に中国人の方が入ってこられているのか、ご御存じだったらお聞きしたいと思います。

歴史4館の入館者数については、昨年から急激に伸びを示しております、その中でもインバウンド、外国人観光客の方も増えてきているという報告は受けております。ただ原因については、指定管理者から報告がまだ上がってる状況ではございませんので、今後研究していきたいなというふうに思っております。

足立委員

2点を質問させていただきます。まず、史跡篠山城跡保存修理事業に関し、植栽管理で一般財源222万千円計上されていますが、三ノ丸西市営駐車場の土日料金を値上げした際に、城跡整備及びその修景にかかった費用に回していただきたいというようなことをお願いしたのですけれども、城跡の中の整備の費用負担について、どのように協議、進捗を図られているのかということについてお尋ねしたいと思います。

社会教育部

まちづくりの基金の使い方については、各担当部署が割り振りされておまして、その担当部署が集まりまして、令和6年度はどこをどういうふうに植栽管理していこうかという協議を行っております。その中で令和6年度については、学事課になると思うんですが、樹木の伐採ですとかの費用に駐車場の基金を充てるというようなことで一応合意はとれております。また今後そういったことも、議会のほうに提案されると思いますけれども、一つの部署だけでなく、複数の部署で協議しながら植栽管理を今後も進めていこうということで合意しています。

足立委員

相当金額が増加していると思うので、その辺協議して有効に使っていただきたいというふうに思うのがまず1点です。

あともう1点については、文化施設管理費に関し、いわゆる歴史4館の管理費について、入館者数も増えているということなんですけれども、事業費6,800万円に対して一般財源4,200万円ということで、入館料としては30%ぐらいしか補えていないということで、昨今何でも値上げということもあります、歴史的施設を値上げするというのは難しいとは思いますが、今どれぐらいの推移で料金の改定されてきたのでしょうか

か。僕の感覚では50%ぐらいをその他財源で賄い、一般財源を50%ぐらいに抑えるべきではないかなという気はしているのですが、現状は少し市の負担が大きくなってきているので、維持管理費等も要りますので、そのところも含めて、入館料についての見直しについての推移と、今後の考え方をお示してください。

社会教育部

歴史4館の入館料につきましては、大ざっぱではございますが、コロナ前まで入館料収入等の財源が40%から50%の間ぐらいで推移してたと思うんです。ただコロナで入館者数が落ちまして、今回復方向にはございますが、おっしゃったように約30%というようなことです。経費も物価高とかで膨らんでおりますし、入館料の改定については十分検討の余地もあるというふうに考えています。また指定管理者においてアンケート調査等も行っていただいております、入館料が高いか安いかなど、これは観光客の方の主観的なものではあるかもしれないんですけども、比較的安いという声もたくさん出ているようですので、開館以来料金の改定は1回もしておりませんので、今後十分に研究させていただいて結論を出させていただきたいというふうに思います。

足立委員

何回も料金改定されておるものと思って話していましたがあれですけど、とにかく昨今人件費なり、物価高というのは、当たり前になってきています。本市の駐車場は平日なんかやったらもうほぼタダみたいなもんやし、お金を頂くとところがないので、せめて入館料ぐらいでお金を落としてもらわないと。入館料については、指定管理者とも協議していただいた上で、何とか見直しをかけていただいて、今度チケットを印刷するときには少し値段を上げるぐらいの気持ちで協議を進めていただきたいなという思いです。50%ぐらいを目標にさせていただきたいなというふうに思いますのでよろしくお願いたいと思います。

原田副座長

町並整備事業に関し、伝統的建造物群保存地区の保存と活用に関連しただけの問題ではないのですが、少しずつ修景が進んでいくことはありがたいのですが、震災の話もありますし、耐震補強等に対する考えはどのように考えられているのでしょうか。

社会教育部	<p>今回、石川県でもありましたように、地震で伝建地区も非常に被害を受けております。伝建地区の防災の考え方としましては、今修理修景事業を行っておりますので、その中で例えば耐震部材を積極的に使っていただいて、現在の修理補助事業の中で対策していただくのが本来かなと思います。ただ、震災で本当に地震も怖いんですけども、そのあとに起こる火災というのがやはり非常に危惧されますので、その辺りは消火器の配布であったり、訓練であったり、そういったところで補っていかないといけないというふうに現在思っておりますので、伝建地区の震災に対する考え方は今そういう方向で進んでおります。</p>
原田副座長	<p>よく分かりました。耐震まではなかなか対応しかねますよね。あともう1点お願いします。</p> <p>文化施設管理費に関し、D にたくさんの指定管理を受けてもらっているのですけれども、多くが人件費にかかるかなと思うのですけれども、これだけの人件費がかかってくると、たくさんの雇用が発生しとるわけですし、そうなってくると労務管理上の問題も発生しうと思うのですけれども、労務管理上の例えば問題発生したときの解決策といいますか、例えば教育委員会が介入されるのかどうかとか、その辺の対策や考えがありましたら聞かせください。</p>
社会教育部	<p>指定管理者のD に歴史4館を委託させていただいております。基本的に労務管理につきましては、指定管理者のほうで調整なり、相談なり頂く形になるのですけれども、こちら指定管理ということで出させていただいておりますので、必要があればこちらのほうも話の中に入って行って、解決に向けてしていきたいというふうに考えております。</p>
安井委員	<p>地域文化費に関し、春日能の開催を300万円の事業費で行うということなんですけど、一般財源以外ではできないのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>もちろんこの300万円だけでは到底賄えませんので、実際は実行委員会で入場料の徴収をされたり、あと市内の協賛金という形で企業、個人も含まれますけれども、そういった収入と合わせた額とで運営をしています。補助金の財源として、どこから特別財源を引っ張ってこれたらいいんですけど、今のところ引っ張ってこれるところがなく市の単費という形となって</p>

安井委員

います。

今の説明を聞くと協賛金、それから入場料とかが、これに加わって事業を行うということなんですけど、実際入場料及び協賛金はどのくらい見積もられているのですか。

社会教育部

申し訳ございません。正確な資料が今手元にございませんで、また後でお伝えさせていただきたいと思います。(後刻報告済)

社会教育部

先ほどの春日能の実行委員会の会計決算なんですけども、チケットの売上げ額が令和4年度で、34万7,000円となっております。協賛金は43万というふうになっており、補助金が300万円入っており、収入と繰越金入れて525万8,000円の決算額となっております。

安井委員

事業としては500万円余りの事業じゃないですか。実際補助金が300万円と書いてあるだけなんで、そういう入場料収入とか協賛金とかいうのもこの予算書に書くべきじゃないかと僕は感じたんです。その辺を今後改めてほしいなと思うんですけど、でないとならば総事業費が分からないじゃないですか。

社会教育部

これにつきましては、他の補助金、例えばABCマラソンでも補助金として計上しておりますが、その他の収入を予算書に示すことはありません。全体額の審議を頂く場ではないとは思いますが事業費の大枠はお伝えするべきと思っております。

安井委員

あとこういうのでしたらふるさと納税で寄付を求めるといったようなことを使うとかいうのはできないものなんですか。

社会教育部

ふるさと納税の充当については、財政部局に充当していただけるように、協議する余地はあろうかと思っておりますので、研究させていただいて、また財政部局のほうとも協議していきたいと思っております。

【主な説明】

中央図書館

田園交響ホール

【主な質疑】

隅田委員

市史編さん事業に関し、市史編さん室を西紀支所に移し、会計年度任用職員2名分の予算が計上されていますが、この2名で

	<p>足りるのかということと、あと神戸大特命助教1人と上がっていますが、この特命助教は常時西紀支所に勤務されるのか、その辺りの仕事の場所なり状況なりについて説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>まず1点目の会計年度任用職員の関係ですけれども、市史編さんに伴うものとしては2名分の予算確保をさせていただいて、それとは別に市の全体枠で学芸員の募集をかけていただくという形で考えています。もう1点の神戸大学の先生につきましては、常時西紀支所で勤務ということではなくて、週に通っていただく形で考えています。</p>
<p>安井委員</p>	<p>図書館管理運営費に関し、シャワートイレ設置工事が図書館で行われるということなんですけど、少し詳しく説明頂けますか。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>今現在、シャワートイレの設置は多目的トイレの1か所のみになっております。その他洋式の便器が、男子、女子合わせて5台となっております。そちらの5台にシャワートイレを設置するという工事でございます。不特定多数の利用者の方がトイレを利用されますし、市内の本庁でありますとかそういった市役所よりも利用が多いかと思っておりますので、衛生面、また本を取り扱うという面で、清潔さというのも必要になってくると思っておりますので、シャワートイレの設置を図って衛生面を向上したいと考えています。また、図書館については自治体を知る際に本当に核となる施設かと思っております。そういった施設において、衛生面が整っていないというのは、申し訳ないと思っておりますので、市の窓口という部分も含めてトイレの部分の部分をきれいになりたいというところでございます。</p>
<p>安井委員</p>	<p>遅過ぎるぐらいかなという感じは受けてまして、もっと早くして欲しかったなという気はします。予算説明資料の下段に図書費が1,147万円と計上されていますが、冊数にすると何冊ぐらいの購入を予定されているのですか。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>単価1,300円と想定しまして、中央図書館で7,623冊、市民センターの図書コーナーで1,200冊ということで、合計で8,823冊というふうに想定しております。また、単価については、上下しますので、冊数も変動してくるかと思うのですけれども、そういったところで整備をしていきたいというふうに考えてお</p>

安井委員
社会教育部

ります。

これによって蔵書の数は幾らぐらいになるんですかね。

令和4年時点で21万3,596冊、今年度につきまして7.623冊の整備を行うとしまして、22万1,619冊、多少前後するとは思いますが、それぐらいの冊数になると考えております。目標としまして、図書館ビジョンにおいては、令和5年度で23万冊という目標を掲げているんですけれども、経費削減でありますとか、その他優先すべきところもあるかというところで、せめて前年度の予算額は確保させていただいて、順次整備していきたいというふうに思っております。

安井委員

世間ではというか、世の中ではペーパーレスで電子図書というのが大分普及してきたと思うのですが、電子図書について図書館としてどのような今後取組をされようとしているのかその辺りをお尋ねします。

社会教育部

電子図書につきましては兵庫県では約半分の市町で導入されておりますが、全国的には3割程度になっておりますので、今後必要な経費も含めて、研究を重ねていきたいと考えています。

原田副座長

交響ホール管理費に関し、舞台照明の改修工事ですが、かなり高額な工事のようですが、地元業者が入札に入られる可能性はあるのでしょうか。

社会教育部

恐らく、一般競争入札ということにはなろうかと思うのですが一定の条件に合えば、市内業者の方も入る可能性はあるというふうに思っています。

安井委員

交響ホール市主催事業費に関し、委託料の中に出演料が3千万円ほど計上されています。その中で、1番高い出演者の方ほどなたなののでしょうか。

社会教育部

一般的にはジャンルで決まるというよりは、その時にテレビでとても人気な方とか、昔からよく紅白歌合戦とか全国放送に出演されている方は、全国的にも出演の引き合いも多くありますし、大きな会場でもされるというところもありますので、よくテレビで目にされるような方ほど出演料が高いような内容になっております。とても人気な方で、ドームや、2千~3千クラスのホールを回るような方は講演をされないような方もいらっしゃると思いますので、一概には言えないというところが回答になります。

安井委員	令和6年度に、ホール主催事業がありますよね。その中ではどの事業が一番高くつくのかが気になったもんですから。
社会教育部	令和6年度のホール主催事業で言いますと、14番目のFさんさんほか3名によります演歌が出演料としては1番高くなります。
向井座長	交響ホール管理費に関し、友の会会費の件ですけど、先ほど令和6年度から市直営でクレジットカード決済を導入するとの説明でしたが、現在の友の会の会員数、また、クレジットカード決済がどのくらいあるのかというその辺りの説明をお願いします。
社会教育部	令和5年度現在は369名の方が友の会で在籍しています。今現在で既に来年度に向けた友の会の会員募集をしております。
向井座長	友の会の入会者は、近年増えているのか、減っているのか、横ばいであるのか、どのような状況なのでしょう。
社会教育部	友の会員については、千円の会費を頂くんですけども、公演によっては、会費を友の会会員価格で取り戻せるというところもありまして、そういった公演が多い年と少ない年がやはりどうしても出てきたりします。令和4年度は412名友の会会員がありましたので、令和4年、令和5年につきましては、比較的多かったということです。ただ、コロナもありまして令和3年度につきましては、200人台ですので、コロナのこともありまして、公演内容も含めまして前後があるというところがございます。

■監査委員、公平委員会、選挙管理委員会、固定資産評価委員会事務局

日程第1 議案第19号 令和6年度丹波篠山市一般会計予算

西牧監査委員、公平委員会、選挙管理委員会、固定資産評価委員会事務局長 挨拶

【主な説明】

監査委員、公平委員会、選挙管理委員会、固定資産評価委員会事務局

【主な質疑】

安井委員 市議会議員選挙費に関し、ポスター掲示板設置撤去委託料が

2,300万円余り計上されていますが、設置箇所359ヶ所と多いこともありますが、結構高い金額がかかっているのですが立候補者何人分用の掲示板を想定されているのかお尋ねします。

選挙・監査・公平

高さは約1.8メートル、横幅4メートルのサイズを考えておりました、枠数としましては、縦3横9の合計27枠、そのうち2枠は、注意事項等がありますので、25名で考えております。

■会計課

日程第1 議案第19号 令和6年度丹波篠山市一般会計予算

【主な説明】

会計課

【主な質疑】

安井委員

会計管理費に関し、役務費の手数料ですが、現時点は三井住友銀行が指定金融機関ですが、丹波篠山農協協同組合と交互に行われていると思います。丹波篠山農協協同組合に指定金融機関となっても金額的には同じぐらいの手数料になるというふうに思っていますか。

会計課

おっしゃるように輪番制ということで三井住友銀行と丹波篠山農協と交代で引き受けていただいております。今回の手数料の件につきましては、三井住友銀行とは調整しておりますが、令和7年9月末までのことで、それ以降の指定金融機関の指定については、これからになるので丹波篠山農業協同組合とはまだ調整しておりません。仮に引き受けてもらえるとすればほぼ同額となるのではないかと考えています。

■学校教育部

日程第1 議案第19号 令和6年度丹波篠山市一般会計予算

【主な説明】

教育総務課

学事課

【主な質疑】

<p>隅田委員</p>	<p>2つお聞きします。学校教育総務費に関し、平成26年からピロリ菌検査を行っておられますが、兵庫医大からは、その検査結果についてどのような公表がなされておるのか教えてください。</p> <p>もう1つは学校施設維持管理費に関し、脱炭素化推進事業債・省エネルギー改修として特定財源1,130万円が計上されていますが、今年度どのような脱炭素化省エネルギーの改修工事を予定されているのか説明をお願いします。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>ピロリ菌検査につきましては、各学校で実施の秋の尿検査の検尿から検査を実施しています。主には健康課で事業を実施していますので、検査の結果について保護者への通知なども健康課でしています。今年度につきましては、健康課から頂いた結果によりますと、受診率としては93.3%、そのうち、陽性率としましては4.2%となっております。陽性の方についての今後の精密検査や除菌の案内などについては健康課で行っております。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>脱炭素化推進事業債ですけれども、LEDの改修工事を想定しております。具体的に言いますと、西紀小学校、大山小学校、城南小学校、今田小学校及び西紀中学校で照明のLED化を予定しております。</p>
<p>安井委員</p>	<p>中学校教育振興費に関し、要保護・準要保護援助費が1,800万円余りと結構大きな金額ですけれども、詳しく説明お願いできますか。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>要保護・準要保護の就学援助費につきましては、経済的理由により就学が困難な家庭の保護者に学校に必要な経費の一部を援助する制度となっております。要保護児童は生活保護世帯の児童生徒、それに準ずる程度に経済的な理由で就学困難な児童生徒が準要保護児童生徒となります。要保護児童については、生活保護の教育扶助から支援がありますので、就学援助費として市が支給するのは、修学旅行費だけになります。準要保護児童生徒については、学用品費や通学費などの一部、給食費につきましては実費全額、校外学習や修学旅行の経費、学校保健安全法で決められた特定疾病にかかられたときの医療費なども援助しています。</p>
<p>安井委員</p>	<p>要保護対象人数、準要保護対象者は何人ぐらいいらっしゃる</p>

<p>学校教育部</p>	<p>んですか。</p> <p>令和5年度で言いますと、小学校の要保護の方は6名、中学校は2名、準要保護の方が248名、中学校で164名という認定の状況でした。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>中学校教育振興費に関し、スキー教室助成金の予算が計上されていますがどのような趣旨の助成なのでしょう。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>保護者のスキー教室にかかる費用負担軽減のための助成金です。</p>
<p>原田副座長</p>	<p>スクールバス管理事業に関し、スクールバス等の運行委託料が、去年に比べて約1500万円上がっていると思うのですが、その増えた理由を聞かしてください。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>スクールバスの委託料が増えた理由としては、1つは篠山養護学校でスクールバスを1台増便します、その分の委託料が増えています。それと、夏期の下校時のバスの運行ですが、今年度25日間から、来年度は30日間として5日間期間を延長して運行したいと考えておりますので、その分と、貸切りバスとタクシーの公示価格が引き上げられましたので、その分も見込んでおりますので、委託料が大分増えています。</p>
<p>原田副座長</p>	<p>よく分かりました。1点だけ思うんですけど、暑さ対策で通学のためにバスを運行させると思うのですが、いいことだとは思いますが、子どもも暑さ対策した上でしっかり歩くといいですか、余り過保護にし過ぎないといいますが、そんなふうを考えてしっかり歩いてもらうというふうに考えたほうがいいと私は思うんですけど、この考え方は間違っていますでしょうか。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>歩いてもらうというのも確かに良いことだと思いますが、ただ近年は酷暑で、夏休み前後はかなり暑く、朝は徒歩通学で、帰りの暑い時間帯については、スクールバスを運行させてもらうという考え方で進めています。</p>
<p>原田副座長</p>	<p>分かるような気がするのですが。暑いとはいえ、今までから歩いてきたことだし、ある程度対策したら歩くのは可能ではないでしょうか。余り甘やかし過ぎないほうがいいと私は思いますので、参考してください。</p>
<p>安井委員</p>	<p>学校教育総務費に関し、自転車保険加入交付金の計算式ですが、1,000円×1,037人×0.4となっていますが、0.4の係数の意図について説明お願いできますか。</p>

<p>学校教育部</p>	<p>0.4の係数については、毎年の実績としまして、世帯数に対して、申請があり交付した世帯が大体30%台となっておりますので、4割程度を見込んで予算要求とさせていただいております。</p>
<p>向井座長</p>	<p>学校施設維持管理費の大規模改修ですけれども、クラウドのほうに説明の資料を頂いておるんですが、今回西紀中学校と多紀小学校の外壁改修ということで頂いたのですが、クラウドの資料なんかも含めて詳しく説明頂きたいなと思うのが1点と、あとスクールバス管理事業に関し、城東地区のスクールバス1台が更新される予定ですが、補正予算で養護学校の更新するバスが、なかなか手配ができずに更新で要らなくなったバスを使用しているといった説明をされたと思うのですが、この更新後のバスについては、またそのような運用されるのかそれとも売却されるのかというあたりがもし決まっておれば説明頂きたいと思います。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>西紀中学校の概要ですけれども、主に校舎棟と体育館の外壁等の長寿命化改修工事を想定しております。主に、外壁の塗装の塗り替えと屋根関係の防水と塗装の工事を想定しております。西紀中学校については、主な改修工事の1番末尾に書いてあるんですが、多目的ホールについて、サッシの改修工事を想定しております。続きまして補足説明資料の7ページを御覧頂きまして、多紀小学校ですが、こちらも校舎棟と体育館の改修を考えております。西紀中学校と同じように、主に外壁の改修と屋根、防水の改修工事を想定しております。主な改修工事の1番末尾にありますけれども、階段踊り場のガラスブロックに一部クラックが入っておりますので、その改修工事を含めて、工事施工する予定です。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>更新後の車両については、今年度、更新した車両も、来年度篠山養護学校のスクールバスが納車されるまでの一時的な利用をする予定です。来年度更新予定のバスにつきましても、引き続き一時的に利用することがあるかもしれませんが、その後利用することがなくなれば売却する予定です。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>小学校管理費に関し、小学校の机と椅子について篠山産材を利用していると思いますが、小学校は全ての学校に配置できたのかということと、ある一部の学校では卒業するとき、机の</p>

天板を記念品として持って帰ると聞いたんですが、全小学校においてそのような対応をされているのでしょうか。幼稚園は、同様の取組をされているのかについて説明をお願いしたいと思います。

学校教育部

小学校につきましては木製机が全て入っております。今言っていたように卒業記念として机の天板については、それぞれの学校で加工などを行い、記念品として持ち帰っていただいています。

【主な説明】

学校教育課
教育研究所

【主な質疑】

隅田委員

学習環境支援事業に関し、一般質問させていただいた不登校児童対策の校内フリースクールを新年度において全中学校に設置されるということでありありがとうございます。川西市では、多田中学校、3年間4、5、6時限で、開校されて4年目の今年から1時限から開始するというふうに説明を受けましたが、本市においては、どのような形でフリースクールを開校しようとしておられるのか、また開始時期は、支援員の採用が決まった段階からなのか、それとも全校4月からそういう形で進められるのか、その辺りの方向性の説明をお願いしたいと思います。

学校教育部

本市の不登校児童生徒支援員の配置基準は、年間700時間です。この内訳は、1日4時間、週5日、35週間という形になります。ただし、必ず4時間ということではなくて、学校の状況によっては少し増やしたり減らしたりすることは可能になっております。例えば中間期末テストといった形で、余り必要のない日については、除いて必要な日に割り振るという形で日数にしまして1日4時間であれば年間175時間は配置することができるということになります。ただ、いまでも実際に支援員がいない学校においても、不登校の児童生徒につきましては、教員が対応しておりますので、仮に不登校児童支援員が不在のときであったとしても、学校の誰かが対応するという形はとりたいと思っております。

隅田委員

多田中学校では、できるだけ現職の教員に負担をかけたくないというような考えで取り組んだというふうにも聞きましたの

	<p>で、そういうあたりも加味していただきたいなと思います。</p> <p>学校教育充実事業に関し、部活動困窮世帯支援補助金14万円分が計上されておりますが、これは何人分に該当するのでしょうか。また、1人当たりの補助単価はいくらぐらいを考えておられるのでしょうか。</p>
学校教育部	<p>今のところ1万円を上限に14世帯があるということで計上しております。今年度については、必要はございませんでしたが、令和6年度につきましては、増えることを想定しておりますので、そのまま計上しております。</p>
隅田委員	<p>教育研究所事業費に関し、臨床心理士派遣の増加による予算の増額との説明を受けましたが、生徒の状況、背景なり、臨床心理士はどのような生徒に対し、どのような対応をされるのか簡単に説明をお願いしたいと思います。</p>
学校教育部	<p>臨床心理士の派遣については、相談内容として児童及び生徒の発達相談及び心理検査に関することが1つ。それから、児童生徒及び並びに教職員保護者への発達に関する専門的な助言及び援助に関すること。3つ目が特別支援教育の推進関係機関との連携調整に関すること。この3つを主に相談内容としています。現在特に心理検査にかかるところについてのニーズが多く、週3日間の予定で予約を受け付けているところですが、予約がもう全ていっぱいになっている状況で、今回増加させていただいたところです。</p>
安井委員	<p>学校教育充実事業に関し、部活動地域移行運営団体負担金ということで、新たにホッケーとサッカーが加わったということなんですけども、各団体にそれぞれどのぐらい負担金が渡るのか教えていただけますか。</p>
学校教育部	<p>まず団体への負担金として、年間10万円の部分とあと大会参加費ということで、これまで学事課から各学校に支払っていた分をこちらに計上しているというふうな形になりまして、具体的には遠征費としてソフトボールで52万6,065円、サッカーについては59万6,000円、剣道については47万8,500円、ホッケーにつきましては307万6,500円となっております。</p>
安井委員	<p>今お聞きしたところホッケーが圧倒的に半分以上、300万以上ですから、ホッケーにすごく負担金を払われているのですけどもその辺りはどういう経緯というか状況でそのようになっている</p>

学校教育部

のか説明お願いできますか。

これまでの実績に応じているものなんですけれども、ホッケーに関しましては、全国大会等全国レベルでの遠征が必要になるというようなことで、ホッケーにつきましては金額が大きくなっております。

学校教育部

補足をさせていただきますけれども、そもそも学校でやっていた部活動の内の一部が地域移行に係る分を、学校のほうから切離して今回の科目に持ってきたことで増ではないんです。学事課の中学校の教育振興費で部活動支援と遠征費の支援を予算化しまして、今回その主体が地域移行になりますから、実施主体が地域にある地域の団体になりますから、学事課からその分を減額して、学校教育課で増やしてるという計上の仕方になっているのでこちらでは増額に見えるということになります。

向井座長

関連で部活動の地域移行のところですけども、今回丹波篠山の教育の中でも拡充事業ということで、部活動の新たな形に向けてということを出されています。4つの種目について、モデル的に進めていくということで、施政方針の中でも言われたと思うんですけども、もう少し具体的に新年度その4つの種目についてどういうふうに進めていこうとされるのか。なかなか実際に地域に移行していくのは難しいというようにも聞いとるんですけども、生徒数が減ってきながらも、どういうふうな教育委員会としてお考えを持たれているのかということについて説明をお願いします。

学校教育部

ソフトボールと剣道につきましては、昨年からやっておりますので継続して行っていくという形になります。ホッケーにつきましては、HEARTSというクラブチームがありまして、そちらのほうに中学校の部活動も一緒になるというような形をとります。ただ、本市の場合は平日については部活動、休日のみ地域のほうへ移行するという形をとります。土日については、クラブとして学校の垣根を越えてチームになります。当然、試合にも出ることができるということになります。サッカーにつきましては、新チーム次の3年生が卒業した後から地域移行を進めるということでこちらも同じように平日は部活動のままで、休日については市内のどこの学校に所属していてもサッカーの

向井座長

クラブチームに入ることができるという形になります。

今のことで大体分かったんですけども、生徒によっては平日のクラブと土日のクラブが違うということですね。そうすると、総体とか、中体協の試合に出られる資格とかについてはどのようにお考えなんでしょう。

学校教育部

試合の登録につきましては、どちらか一方しかできませんので、平日で例えば陸上部に入っていて、陸上部で記録登録して、そちらに出る場合は、休日に、もしサッカーをやっていたとしても、そちらには出ることはできないということでどちらか一つという形になります。

向井座長

先ほど隅田委員も質疑されました学習環境支援事業に関し、令和6年の新規事業の不登校の対策事業なんですけども、今回中学校5校と小学校が3校と言われたんですけど、差し支えなければ小学校3校はどこを対象にされているのかなというのと、対応される職員の方の資質というか質の担保、また教職員の資格を持っておられるのか持っておられないのか。また、不登校の児童生徒は、すごくメンタル的にいろんなものを持っている、保護者もいろんなものをもっているんですけど、それに対して声かけ一つで変わってくると思います。その辺りを、どういふふうに考えて、質の担保をされようと思っっているのでしょうか。

学校教育部

この不登校児童生徒支援員につきましてはですが、確かに職員の質という意味においては大変重要であろうと思っております。今回職員につきましては謝金という形になりますので、いわゆる通勤手当というようなものが出ません。余り遠くから来ていただくということではなくて、どちらかという地元の方をお願いするという形になります。学校で例えば学校運営協議会の委員等に声かけをして誰か良い方おられませんかといった形で、人材を探すということです。それから教育委員会も並行して、適性がある方と判断した場合には、学校に紹介していきます。教員免許については必要としておりません。ただ、持っておられてもいいですし教員のOBという形であってもよいのかなと思っております。小学校の配置については、今検討中でありま

向井座長

今の説明でよく分かったんですけど、学校運営協議会の中から推薦受けてということとなると、地域の方という可能性が

高くなってくると思うんですけど、守秘義務の問題が出てくると思います。どうしても保護者としたら言いたくなかったりとか、知られたくなかったりというところもすごくあると思うので、その辺のあたりも分かっていたらと思いますけれども、よろしく願いいたします。

最後に教育研究所事業費に関し、コミュニティースクール運営委託料の増額という説明を受けたんですけども、こども園、幼稚園と一体的にコミュニティースクール運営を進めていくというところなんですけれども、本当にこども園化が進む中で、幼稚園と一体でやったら、例えば運動会を一緒にやったりとか、日常的な中で小学校と幼稚園が連動してというところもあると思うのですが、こども園化が進んでいく中で、こども園と小学校というところが違ったりすることがあると思うんですけど、事業計画、方向性について教育委員会としてどういうふうを考えていらっしゃるのか、この学校運営コミュニティースクールについてももう少し説明頂きたいです。

学校教育部

幼稚園及び子ども園への導入は、令和5年度から3年間をかけて進めていく計画です。現在のところ、幼稚園と小学校合同で行っている園が3つ、それから、単独で行っているのが、たき認定こども園1つです。教育委員会の考え方としましては、認定こども園については単独で行うことが望ましいと考えておりますが、これも地域の実情に合わせてということになります。例えば令和6年度今田認定こども園ができますが、今田地域は、1子ども園、1小学校、1中学校という地域の実情になってきます。その実情に合わせて、こども園と小学校が連携して学校運営協議会をつくって、地域の子供たちを縦のつながりも含めて見ていくことが望ましいという学校地域の意向があり、その意向に応じて教育委員会が設置していくという考え方で進めています。

向井座長

篠山養護学校、特別支援の学校の場合のコミュニティースクールの考え方はどうなんでしょう。

学校教育部

篠山養護学校については、校区が市内全域ということではなかなか地域ということが難しいということは、学校長からも相談を受けたりして、一緒に考えているところです。一つの例として、まちづくり協議会などを活用して、地域と連携してはど

安井委員

うかという意見もあります。そういうことを参考にしながら、これからも連携して取り組んでいきたいと考えています。

学校教育充実事業に関し、協力者謝礼1,100万円余りと結構大きな金額なんですけど、これは何人ほどの方に支払われるものなんでしょうか。

学校教育部

1つは部活動の支援員についての謝金、それから頑張り学びタイム等での協力者の謝金が入っておりそういったものが含まれておりましてこの金額になっております。

安井委員

それぞれ何人ぐらいが含まれているのでしょうか

学校教育部

後ほど回答させていただきます。（後刻回答）

学校教育部

協力者謝礼の件ですけれども、頑張り学びタイムの協力者の謝礼が120万6,000円。あと、中、特別支援学校の音楽会のオペレーター、駐車場の警備員の謝礼で3万7,600円。あと、市のキャリア形成支援事業の夢プランのオペレーターの謝礼で1万円、あと重度心身障害児の交流事業における看護師の謝礼7万4,700円、スクールバス、医療的ケア児とする幼児、児童生徒のスクールバスに係る看護師の謝礼として52万5,000円。部活動の協力員が199万8,000円で、部活動の地域移行の事業としまして、その協力者謝礼ということで、ソフトボール、剣道、サッカーとあと男女のホッケーにそれぞれ156万6,000円ずつというふうな形になっております。

安井委員

学校環境支援事業に関し、学校水泳施設活用モデル事業として、西紀の温水プールを利用する学校が増えるということで、この予算が出ていると思うのですが、西紀の温水プールを使うことによって、各学校の老朽化したプールは利用、修理もしなくてよくなるわけなんですけど、修理をしないことによるコスト等の削減がどのぐらいになっているのでしょうか。

学校教育部

大まかにプールの耐用年数60年間と考えた場合に、大体年間当たり300万円です。施設のほうは250万円、それから水、薬代等を含めて300万円程度がコストとなっているということで考えております。4校分ですので、1,200万円ほどの削減につながっていくという形になります。

安井委員

距離的な問題等もあり全ての学校というわけにはいかないですが、プールの老朽化によってこういう仕組みをうまく取り入れることによって、経費の削減ができてるといふふうに理解して

るわけなんですけども、昨年度の2校の実施から今回増やされたわけなんですけども、増やされるのは4校で打ち止めになるんでしょうか。それとも、さらに増加は考えておられるのか、その辺りのご見解をお尋ねしたいと思います。

学校教育部

特に今急がなければいけない学校というのがこの4校であると思っております。ただし、この1年2年では言えばこの4校が最も優先的ではありますがポイントとしましては西紀運動公園から近い学校というのがまず一つあります。それから児童生徒数が少ない学校、それから最後に老朽化の激しい学校、この3点を加えた上で、今後、進めていくことは必要だと思っております。ただし今、当面急がなければいけないのはこの4校ということになっております。

【主な説明】

東部学校給食センター

西部学校給食センター

【主な質疑】

安井委員

東部学校給食調理費に関し、新年度にオーガニック給食の提供をされる日数は増えるのでしょうか。

学校教育部

オーガニック野菜の提供ですけれども、生産者の方と調整を図り、新たな品目の野菜も入れていただきたいと考えており、増加する見込みでございます。

安井委員

ちなみに本年度は何回提供されたのでしょうか。

学校教育部

有機栽培野菜の日というように銘打って提供する機会は2回ございますけれども、それ以外の日で野菜を納入頂いておりました量で言いますと昨年度1,400キロ近くやったんですけれども、今年1月末時点なんですけれども、1,600キロを超えております。当初目標は1,800キロぐらいを年間の目標としておったんですけれども夏の猛暑の関係で、この3月の給食の提供が終わった時点で届くか届かないかというような状況でございます。

安井委員

できるだけオーガニック野菜を入れていただいたらいいかと思うんですけど、それとお米は農都のめぐみ米なんですけども、オーガニックのお米っていうのもあると思うんですけども、そ

学校教育部

ちらの利用はどうなっているのでしょうか。

有機米ですけれども、認定されるのに3年程度かかると聞いておまして、昨年度末に有機野菜の条件でつくったという有機チャレンジ米と名づけられたものについて3日程度を使用しました。ただそれも生産量はどの程度なのかまだ未知数なところもございまして、その辺りまた農業部局やらと調整しながら、現行の農都のめぐみ米と合わせてどのような位置づけで使うかというようなことも考えていきたいと思えます。

安井委員

市でオーガニックを推進しているわけで、その受皿としては学校給食が1番分かりやすいし、安定的に消費していただける場かなというふうには思っています。そういう方向で、進めていただくしか、オーガニックの割合を増やすのは難しいかなと思ったりもします。あと、オーガニックの割合を高めるのにはお米、主食をオーガニックにするかどうかによって割合が高まるかどうかが変わってくるんじゃないかと思うんですが、その辺りの見解はいかがでしょう。

学校教育部

そちらにつきましては、先ほど申しあげましたように今農都のめぐみ米を使っているところもございまして、農業部局とよくよく調整して有機米の栽培量がどれぐらいになるかというところもあわせて考えていきたいと思えます。

安井委員

それと材料費が値上がりして、補正予算とかで材料費の補助とかしているわけなんですけども、給食代金の値段は、いつから改定されていないのでしょうか。

学校教育部

平成21年から現行の値段でございまして。

安井委員

ということはもう15年ほど前だと思いますので、市の一般財源からの補助というのもしているわけなんですけども、その間の物価上昇を考えると適切な価格改定というのもやっぱり検討されてはいかがでしょう。

学校教育部

この物価高騰の中で、今市費で負担していただいているわけですが、令和6年度については、国のこども未来戦略の無償化の動向とかも注視しながら、丹波篠山市の給食を提供していくにあたって、適切な給食費の方向性を見いだしていきたいと考えております。

隅田委員

雑入に関し、学校給食レシピ本の販売収入として今年は300冊と出ておるんですが、デジタル化の本も考えてはと思った

	<p>りするんですがそのようなことを考えられたことはあるでしょうか。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>デジタル化までは考えてはいないのですけれども、どのようなものか勉強し、また必要であれば考えたいと思います。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>学校給食で優勝した丹波篠山市でありますので、そういったふうなものをつくって宣伝すれば、また全国から応募も出てくるんじゃないかと思いましたが、忙しい中ですので、ぼちぼちでいいとは思いますがよろしくお願いします。</p>
<p>原田副座長</p>	<p>丹波篠山市の給食の質が高いのは十分理解しているのですが、学校別とか学年別とかの完食率みたいなものは分かるのでしょうか。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>個々には計測しておりませんが、回収して帰ってきたところを見えています。学校名までは出ませんが、小学校は残渣が少ないのですけれども、なぜか中学校になりますとダイエット志向とかそういうようなこともあるのかもしれないけれども残渣率が高くなる傾向はございます。全体的な残渣率1人当たりですけれども、年間3.9キロ、平成25年の全国平均では17.2キロですので、4分の1程度ということです。3.9キロといいますのも、ほぼ毎年この程度ぐらいで推移しております。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>今の説明の補足をさせていただきます。食品廃棄物量ということで、調理くず、それと食べ残しを含めた量として、丹波篠山市として3.9キロということで、そのうちいわゆる帰ってきて食べ残ったという量は、大体0.8キロから1キロ、年間1人当たりということで、来ております。ちなみに、平成25年に国の調査があった関係で、本市もそういうことを調べていますが、平成25年、全国で食品廃棄物量が17.2キロ、食べ残しが7.1キロというような調査結果になっております。その時点でも、丹波篠山市としては、食品廃棄物量が3.9キロで、食べ残しは0.9キロというような形でありました。</p>
<p>向井座長</p>	<p>先ほど安井委員から、オーガニック食材を言われたのに関連して、オーガニック食材を使うことで保護者とか、子供たちからの反響みたいなのはあるのでしょうか。</p>
<p>学校教育部</p>	<p>直接お伺いしては、いないのですけれども給食の話をする</p>

中で保護者の方から、また丹波篠山市はオーガニックを使うということをしていただいているのかという喜びというんですか
そういう声を頂いてしたことはございます。

向井座長

毎月子供が献立をもらって帰ってくるんですけども、表は毎日の献立で、裏は何か栄養のお話を書いてあるんですけども、その中をうまく活用して、オーガニック食材使われていることを食育としてもう少しPRするなど、実感として訴えていけるようなことがあったらいいなと思うんですけども、どうですか。

学校教育部

昨年度のときも、給食の献立の裏面のことを紹介頂きましてこちらが率先してやるべきところなんですけど、今年度については、農都のめぐみ米の解説、生産者の紹介、それから、黒豆の歴史話みたいなものと、3回給食だよりの裏を活用して載せさせていただきました。また、オーガニックビレッジ宣言もされたことですので、今頂いたようなところで裏面を使っていきたいと思っておりますし、家庭には届かないんですけど、ランチタイムの毎日の暦のところで、今日の大根は全部有機野菜ですみたいなことがありましたら、学校のほうでお伝えはさせていただくようにしております。今のところそのような状態です。

■こども未来部

日程第1 議案第19号 令和6年度丹波篠山市一般会計予算

【主な説明】

子育て企画課

【主な質疑】

隅田委員

チルドレンズミュージアム管理費に関し、ウッドデッキの改修工事について、撤去の方がいいような気もするんですが、そういうふうにはいかない施設なんでしょうか。

こども未来部

チルドレンズミュージアムの運営については、指定管理者にお世話になっております。指定管理者自主事業として各種イベントを実施している中でも、野外ステージというような形でウッドデッキを活用して実施をされておまして、今後も使用し

<p>安井委員</p>	<p>たいということで、今回老朽化した部分につきまして修繕をさせていただくことで考えております。</p> <p>放課後児童対策事業に関し、城南児童クラブが公設公営に変わりましたよね。以前と比べて、公設公営になったことによる保護者の印象、評判はどうなっているのでしょうか。</p>
<p>こども未来部</p>	<p>本年度より公設公営で運営することになりました。民設民営から公設公営に変わる際に、保護者への丁寧な説明、顔合わせの説明会等も開催させていただき、丁寧かつ誠実に対応して参りました。その後、公設公営に変わったことについての意見等は、特にこちらには届いてないところでございます。スムーズに運営ができていると理解をしております。</p>
<p>安井委員</p>	<p>おいでよささっこ遊具設置事業に関し、子供の遊ぶところの新築設置が城北と今説明を受けたんですが、城北のどの辺りに設置されるのでしょうか。</p>
<p>こども未来部</p>	<p>来年度ささっ子遊具を設置する事業を行うにあたりまして、各地域、地区にアンケートを実施させていただきました。その中で、令和6年度に設置をしたいと希望頂いたのが城北地区となっております。その中で、この遊具設置につきましては、市の土地でなくてはならないという制限がかかっている中で、協議し、現在の予定地といたしましては、よし池公園に現在も遊具が設置をされていると思いますが、高学年用の遊具となっていると思いますので、低年齢児用の遊具を設置するような方向で現在予算を決定いただきましたら進めていく予定でおります。</p>
<p>向井座長</p>	<p>次世代育成支援対策事業に関し、待機児童対策遠距離通所補助金について、令和5年度から始まっている助成金ですが、令和6年度も引き続き予算化されるということで、令和5年度の利用状況と、令和6年度増額されるのかそれとも横ばいなのか減っているのか、事業効果について教えて下さい。</p>
<p>こども未来部</p>	<p>令和5年度から始まりました遠距離通所補助金ですが、令和5年度につきましては、現在7件の申請を頂いております。この7件とも、交付決定ということで決めております。今後3月末までの確認ができましたら、後期分をお支払いして完了ということになっております。まだ3月10日までは令和5年度中の受付をするというふうになっておりますので、もしかしたらまだ増える</p>

	<p>かもしれません。令和6年度につきましても、令和5年度と同額を今回計画しております。申込者の通所距離等によって、多少変わってくるかとは思いますが、令和5年度を参考に予算計上させていただきました。</p>
向井座長	<p>子育てふれあいセンター費に関し、森のようちえん事業を年6回から8回にというような説明であったのですが、実際の参加者数を見ておきますと、令和3年から令和5年をみると減少傾向にありますが、今回事業を増やされようとする根拠とか理由の説明をお願いします。</p>
こども未来部	<p>園への就園は低年齢化しているというところで、子育てふれあいセンターへの事業の参加者の確保は非常に難しくなっているのが現状としてございます。ただ、事業につきましては非常に好評を得ておまして、参加者からの満足度は非常に高いものとなっているところで、事業の回数を増やします。また、令和5年度からは、園に通っている方も対象としているのですが、やはり平日ではなかなか来にくいというところで、休日開催を初めて試みとして入れようとしておりますのでそこも含めての拡充という形で今回予定をさせていただいております。</p>
向井座長	<p>しっかり広報していただいて、利用していただけるようお願いいたします。</p> <p>子育て一般事務費に関し、子育て支援アドバイザーの設置の件ですが、今年の新規事業として当初予算の施政方針にも上がっておりますけれども、男女共同参画のアドバイザーの中川先生が、今度子育てアドバイザーにも就任していただくというようなことかなと思うんですけれども、講演会を年5回で、アドバイザー謝礼金が年間15回ということで計上されていますが、5回は講演会をしていただくということで、あと10回については、どのような内容で実施されようとしているのでしょうか。</p>
こども未来部	<p>子育てアドバイザーの活用というところですが、15回を考えております。内訳といたしましては、今まだ計画ではあるのですが、Eさんに子育て講演会を年間5回程度お世話になればと考えております。そのほかにつきましては、子育て支援団体が各市内にございます。そういった方々のいろいろと運営に当たっての課題であったりとか、相談事、そういったものを、</p>

情報交換会、交流会として、実施を年3回程度できたらなというふうに考えております。あと子育て支援団体向けの講演会ということも1回できればというふうに考えております。子育て支援団体の方々についてもいろんな課題があります。そういったものを聞いていただく、団体向けの相談会を定期的な実施ができればと、今のところでは年6回ぐらいを予定しています。そういったことを含めて年間15回程度実施ができればというふうなことで、予算計上させていただいております。

向井座長

国がこども未来戦略ということで、子育て支援に注力しているということ、いろいろな予算がハード面ソフト面出ていると思うんですけども、丹波篠山市として国の動きとどんなふうにリンクしてやっぴいこうとされているのでしょうか。

こども未来部

今の座長のほうから頂きましたこと本当に重要なことだと思います。正直なところ申しまして、まだ国の施策が私どもにダイレクトに入ってくるようなことになっていません。ある程度兵庫県を通じて入ってきているような段階ですので、いろいろ新規事業計画している事業に対し、補助金を幾らかでも活用して一般財源を減らしていきたいというふうに思っているんですけども、こども家庭庁の情報が入ってくるのが兵庫県です、しかも我々は教育委員会になってますので、県のほうは知事部局で我々は教育委員会となっているので、幾らかその辺でタイムラグがあり情報収集ができていないというところもあります。県を通じて入らない情報は、我々が積極的に国の情報をとり、国のメニューに当てはまらないかというようにしていく必要があると考えています。国は、本当にいろいろな財源をつけていただいとるんですけど、我々の情報収集力が遅いのかもかもしれませんが、その辺は十分気をつけながら一般財源に充てるものを、何とか国、県の事業を使えば、財政的にも助かりますので、今後そういった事務が大きな課題というふうに思っておりますので情報収集には今後も努めていきたいと思っております。

向井座長

部長今おっしゃられたとおりどうぞよろしくお願ひします。一時預かりも今年増やされるということで、誰でも通園制度につながっていくのかもしれないので、国の動きを注視いただければと思います。

【主な説明】

保育教育課

【主な質疑】

安井委員

城東こども園整備事業に関し、設計管理、用地測量の委託料3,800万円となっていますが、今田こども園については強度、剛性不足とか設計の不具合があつて追加予算が発生しましたので、城東こども園では、そういうことのないように業者選定をしっかりとやってほしいと希望するわけですが、その辺りについて見解がありましたら説明をお願いします。

こども未来部

安井委員の言われるとおりでございますので、業者選定をどうきちとしていくのか、どういった業者にするのか、入札をしますので、金銭面しかないかなというふうに思いますので、その辺今回の反省も踏まえた上で、設計上こういったミスが起こらないようにきちんと過去の課題、反省を踏まえた上で、入札を行っていきたいというふうに考えております。

隅田委員

今田こども園整備事業に関し、今年度こども園に木製の机等椅子が配置されると思うのですが、その項目は何費で計上されているのかという点と、机と椅子で1台当たり幾らぐらいかかるのか説明してもらえればと思います。

こども未来部

机と椅子という話でしたけれども、こども園については、幼稚園でも導入している椅子だけを導入していきます。項目については、保育備品費に入っており一脚約9,000円になっています。

斎藤委員

幼稚園預かり保育事業に関し、早朝対応による報酬が計上されていますが、朝何時頃からお預かり頂いているのでしょうか。

こども未来部

幼稚園の預かり事業をしておりまして、朝7時半からお子さんの預かりをさせていただいております。

向井座長

先ほど安井委員から出ました城東こども園整備事業に関し、掘削事業とかの報告がありますが、その辺も含めて補足資料の説明と在り方検討会の進捗状況とか、今の設計に至るまでの進捗状況について説明をお願いします。

こども未来部

追加説明資料の5ページからになりますけれども、城東こども園整備事業の資料をつけております。まず、整備場所につきま

しては、旧城東中学校の跡地、市の所有地でございます。追加説明資料の8ページを御覧ください。まず、用地の安全性の確保というところで、産業廃棄物などの埋設がないかどうかの掘削調査を、昨年12月に行っており、その結果の資料となっております。まず、調査方法4番に記載をしておりますが、8か所から掘削をバックホウによって行いました。この8か所と申しますのは、環境省が定めております土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドラインというものがございまして、敷地を縦横30メートルの区画に区切りまして、区画ごとに最低1か所、場所によっては2か所、掘削調査を行っております。深さは箇所によって異なりますが、1から2メートルの深さとなっております。また、後に説明いたしますが、土壌分析調査のサンプル採取のために、敷地の中央部分DとFの部分になりますが、そちらについても掘削を追加で行っております。7番の調査結果です。調査箇所、8か所全ての表層30センチ程度において、旧中学校解体撤去後に敷かれたであろう砂利が土とともに固形化している状況を確認いたしました。これにつきましては、有害なものではなく、残土として安価に処分できるというふうに聞いております。(2)の掘削した、10か所全てにおきまして、少量の埋設物を確認しました。内容としてはコンクリート片、レンガ、金属くず、木片、アスファルトとなっております。これらはサイズから見まして、旧中学校校舎解体時に取りこぼしたものと考えられます。多少の処分量がかかってくると思いますが、少量となっております。(3)分析箇所のFの場所におきまして、旧中学校校舎の基礎と思われるものが一部残存していました。長さ7メートル、幅50センチ、厚さ30センチでございます。他の箇所においても基礎が残存している可能性はございます。ただ、どの程度残存しているかを事前に把握することは困難なため、全ての基礎が残存していると想定をして、新築工事の際には費用を積算したいと考えております。(4)どの掘削箇所もおおむね深さ1メートルで地山、人為的な盛土が行われていない自然のままの地盤ですが、地山が見られたため、そこから下に産業廃棄物等の埋設があることは考えにくいというふうに考えております。続きまして、追加説明資料の21ページ、こちらは、土壌調査の結果ということで、土が有害な物質で汚染されていないかどうか

かの調査を行いました。4番の調査項目で第1種第2種3種の特定有害物質、合計26物質になりますが、これらについて、溶出試験、水にどういったものが溶け出すのかという溶出試験、それから第2種の特定物質については、土そのものにどれだけ含まれているのかという含有試験を行っております。こちらも国のガイドラインに基づく内容で実施のほうをしております。あわせてダイオキシン類についても調査をいたしました。6番に調査結果を書いておりますけれども、特定有害物質の26物質、それからダイオキシン類全てにつきまして、全ての箇所において、国基準を下回る結果となっておりますので、有害物質による汚染はないものというふうに考えております。以上で用地の安全性について御説明をさせていただきました。資料追加資料の5ページのほうにお戻り頂きたいと思っております。開園予定は令和8年度中を予定。定員は園児数見込みにより、こんだ認定こども園と同じ120名、木造平屋建ての約1200平米の園舎を予定しております。年度ごとの予算計上の予定のほうも記載させていただいております。令和7年度当初予算で新築工事、令和8年度当初予算で備品購入といった大きな流れでございます。右側の備考欄に記載しておりますが、この概算金額につきましては、今田認定こども園の整備費をもとに、概算金額を積算しております。ただ、こんだ認定こども園の設計を行った時点から、建築指数が引き続き上がっております。同じペースで城東認定こども園の新築工事をしていくまでの部分の上昇を計算しましたところ、物価上昇率10%となり、10%を加味した金額で概算金額欄については記載をしております。総額で6億8832万5000円というふうな積算でございます。財源内訳といたしましては、国庫補助金で就学前教育保育施設整備交付金補助率3分の1、起債といたしましては、施設整備事業債という保育所部分に係る起債がございます。残りの部分は全て過疎対策事業債ということで、当初の一般財源の持ち出しとしては約4000万円というふうなことでございます。整備に関する概要としては以上です。

こども未来部

概要については今申し上げたとおりで金額だけ聞かれて、総額6億8000万ということで大変高額というふうに思われるかもしれませんが、5ページとそれから6ページを見ていただいたらよろしいんですけども、今回の予定地の図面でいうと

右側になるんですけども旧城東中学校の体育館があるんです。そちらのほうを市のいろんな物品をいれる倉庫がわりに使っているというふうな状況で、これを地域の皆さんが見られたときにこれはひどいなということで、今後こども園ができるのであれば、これも合わせて何とかしてほしいというようなことから、今回有利な過疎債が使えますので、今回の整備に合わせて倉庫も撤去をさせていただいて、駐車場にしたいということで、倉庫の撤去費が約3800万円計上しています。建物本体だけでいうと5億5000万ということで、これは先ほど説明させてもらったとおり、物価上昇の分もあるかもしれませんが、他のこれまでつくった保育、こども園よりもよいものをつくるかそういうものじゃなくて、こんだ認定こども園レベルのものを城東もつくっていくということでございますので、体育館の倉庫の撤去代が載っているということで、この額をご覧頂けたらありがたいなと思います。

安井委員

今その倉庫の撤去ということを知って、その中に物が入っているわけですね。それはどこへ持っていかれるのですか。

こども未来部

中に入っている物品の主なものがABCマラソンのものであったり、それから文化財の発掘したものが大量にあるというふうなことで現場を見させてもらっております。それ以外に観光の物品であったり、旧の篠山町役場にもなるかもしれませんが、机とかロッカーというようなものがたくさんありますのでそれについては今順次、処分、あるいは他の場所に移していくという作業をしております。

安井委員

県の総合庁舎も何か今倉庫がわりに使われていて、あれも解体を本年度、次年度行われるという話なので、マラソンとか文化財とかの倉庫として利用しているものを壊していったらどこへ持っていくのかなと心配をします。

こども未来部

全体は把握できていないんですけども、管財契約課で、管財契約課所管の建物については取壊しをしたいというふうな思いがあったので、今管財契約課が中心となってどこへ分散していくかの仕分を今してもらっているような状況だと思います。詳細については、お答えできなくて申し訳ございませんが、市として今取り組んでいるという状況です。

安井委員

もう1点この倉庫のところが駐車場になると今おっしゃいま

こども未来部

したけども、倉庫のところへの駐車場のアクセスは、この図で言うたら右側から来るんですかそれとも、左側から来るんですか。

倉庫撤去後の駐車場につきましては、職員の駐車場であったり、行事を行う際のイベント時の臨時駐車場というふうなことで現在のところは考えております。アクセスにつきましてはおっしゃっていただいたとおり、東側の南北の道路の予定にはなりますが、ふだんから保護者が送迎頂く道路につきましては、敷地の西側、左側の道路を使っただいて、園舎の整備予定地の左側に、送迎用の駐車スペースを設けてはどうかと現時点では考えております。

安井委員

赤で枠囲んである全てを城東こども園の敷地として利用されるのですか。

こども未来部

今現在はその場所のどこかで園舎なり園庭整備をするというふうなことで考えておりますが、在り方検討委員会、それから地元の皆さんにも入っていただいた組織がありますので、そちらのほうにも御意見を聞きながら全部を使うのか、一部だけになるのかというふうなことで今のところ考えております。できる限り、地元の皆さんの意向も大事かと思っておりますので、有効活用、効果的な配置をしていきたいなというふうに考えています。

隅田委員

こんだ認定こども園とさほど変わらないという部長の説明だったんですが、環境面のZEB Readyからすると、今田よりは、もう一つ上のレベルと聞いていたのですが、その説明を少しお聞きしたいと思っております。

こども未来部

結論から申し上げますと、BELSという制度がありましてその上にZEBというのがあるんですけども、今田についてはBELSでいきます。城東についても、ZEBという形、あるいはZEB Readyという形で環境評価の良いものでいけば良いんですけども、それでいきますと非常に今以上に、建築費が高くなります。どれだけ高くなるか算出はできていないんですけども、恐らく2割以上高くなってくるというふうに思いますので、城東についても今田と同程度のレベルで何とかいきたいなというふうに考えております。

■議員協議

向井座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願います。

— 意見等なし —

— 市長等への質問等なし —

■意向確認

議案第19号 令和6年度丹波篠山市一般会計予算

— 修正・反対等の意見なし —

向井座長 この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行います。報告については、座長に一任いただきます。

また、本日の会議の記録については、事務局に調製させ、座長、副座長において内容確認を行います。

— 異議なし —

原田副座長 挨拶

向井座長 散会宣告

16:22 散会

令和 年 月 日

予算決算委員会総務文教分科会

座長